

福祉の仕事の魅力を広い世代に伝えるため、福祉施設で働く若者の「声」を紹介するシリーズ。第1回は特別養護老人ホーム「ケアプラザさがみはら」（緑区大島）で働く天谷和成さん（26）。

桜美林大学で社会福祉を学び、実習などにも参加していた天谷さん。人の役に立てることが嬉しく、「福祉施設で働きたい」と感じた。そこで教授に紹介されたのが、ケアプラザさがみはらだったという。同施設では現在115人が勤務しているが、その中で若きユニットリーダーとして、10人からなる入



笑顔で振り返る天谷さん

福祉のしごと・魅力発信① 企画／相模原市社会福祉協議会

「この道を選んでよかった」

ケアプラザさがみはら勤務 天谷和成さん



居者グループに目を配っている。同施設では利用者の個人生活に合わせて、ユニットごとに1時間単位で職員がシフトを組む。残業もそれほど多くはない。しかし、入居者の体力が落ちていく姿や、最後をお看取りするつらさもある。一方、独身の天谷さんを心配して、入居者から「孫を紹介する」とお見合い話が舞い込むこともある。談笑する姿は、まるで家族のようだ。

「キツイ仕事のイメージはあったが、働いてみて意識が変わった。今は皆さんの笑顔がモチベーション。胸を張って、ここに来て働けて良かったといえます」と天谷さんは話す。

■ケアプラザさがみはら

相模原市緑区大島295

☎042・713・3818

※看護職員・介護職員募集中